

...ボランティアがつくるニュースレター...

作 成…トラスト通信ボランティア
発 行…(一財)世田谷トラストまちづくり

〒155-0031
世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール7階
Tel・03(6407)3311 Fax・03(6407)3319
<http://www.setagayatm.or.jp/>

トラストネットワーク



五月節句

No. 76 2017年6月

～民家園のこどもの日・5月5日～

「こどもの日」

に向けて世田谷の民家園では五月節句の飾りつけが行われました。古民家の屋根より高く鯉幟や武者幟を掲げ、茅葺きの母屋



の軒に魔除けの菖蒲を挿し、座敷に五月人形を飾り、柏餅も供えていました。当日は、文化財資料調査員*による「五月節句」の解説会もありました。

5月5日の「こどもの日」が、すべての子どもの人格を重んじて制定されたのは、1948年(昭和23年)第二次世界大戦後のことです。それまでは3月3日の上巳の節句(陰暦3月の初の巳の日)が女兒の誕生を祝う日であるのに対して、5月5日の端午の節句(陰暦5月の初の午の日)は男児の成長を祝う日でした。

江戸時代には男子の初節句の祝いに武者人形を贈り、返礼に柏餅を届ける習慣があったといえます。武家時代の

親たちは、男の子が強く勇ましく育つことを願って兜や武具、武者人形を飾り、立身出世を祈って武者幟や鯉幟を立てたそうです。

初めは、戦に使った本物を道行く人に見えるよう外に並べていたのが、だんだん内へ引っ込み、庭や縁側を経て室内に置かれるようになったとか。そのため、形は小ぶりに、装飾的になった由。内飾り(人形)と外飾り(鯉幟など)の両方をするようになったと言われます。

柏餅を供えるのは、柏の木が、新しい芽が出てから古い葉が落ちることにちなんで、家が代々続くようにという縁起をかついだものと聞きました。



また、菖蒲の葉は剣先のように鋭いことから軒に挿したり、風呂に入れたりして、邪悪なものを払う魔除けとして使われたそうです。

今年のこどもの日は快晴で、ほかにもいろいろな行事がありました。次大夫堀公園では大道芸や紙芝居、竹馬、ベーゴマ、そば打ち、藍染めなど、岡本公園では竹とんぼ作りや紙玉鉄砲作りなど、普段はすることの少ない遊びや昔の暮らしを家族で楽しむことが出来ました。

*世田谷区教育委員会

76号の目次

五月節句	1
竹林お手入れ体験	2
せたがや散歩道	3
フラワーランド春の花まつり	6
かわらばん	8

竹林お手入れ体験 (タケノコ間引き)

竹山市民緑地（喜多見5丁目）で、4月18日（午前）、4月22日（午前・午後）に「竹林お手入れ体験（タケノコ間引き）」が開催され、抽選で選ばれた20人余の方が参加しました。

22日の午後も参加者は23名。まず、（一財）世田谷トラストまちづくりの担当者の挨拶と「竹山」という呼び名の由来（昔は、平地でも竹が植えられているところを山といった。）等の説明に続いて、竹山ボランティアの方々の紹介があり、いよいよ竹の間伐作業の開始。

竹は、生えてから3年から4年目が盛りで、5年目頃から質の落ちるタケノコを生やすのだそうで、今回、間伐したのも5年目以降の竹でした。

まず、3組に分かれて竹林に入り、決められた竹の3mほどの高さのところに綱を掛けて倒す方向に綱を張り、竹の根元を高さ2cm位異なるように左右から切り、綱を引くと竹が倒れます。

もともと、竹の枝が繁茂しているので、かなりの力で引っ張らないと倒れませんが、竹の間伐はボランティアの方々が行いました。そして適当な長さに切り分け、広場まで運搬。

次は、竹の枝落とし。大きい竹だけに枝が35本も出ていました。この枝を太鼓のバチのような道具で落とすのです。枝の分かれ目のところを斜め上から殴りつけると、枝が裂け落ちるのですが、枝の分かれ目のところを狙わないといけないので、かなり

の難事業。さんざん枝をたたいた後、力任せに竹の幹をたたき道具を放りだして顔をしかめて悔しがる若いお父さん。一方、若いお母さんが一発で枝を落とし、ガッツポーズ。

次が、お待ちかねの「タケノコの間引き」作業。最初に、スコップの使い方と地面に置く際の注意、タケノコの掘り方、根の切り方等の説明を受け、1人で1本ずつ「タケノコ」の間引き作業開始です。

貸与されるのは、スコップと小さなシャベル。竹林の中には、沢山のタケノコが生えているのですが、親竹にするものには印がついているので、それらを避けながら適当なタケノコを探して、掘り始めます。

ところが、竹林には太い竹の根や細かい根が縦横に走り、小石等もあるので、ここでも悪戦苦闘。竹山ボランティアの一人が持っているツルハシである程度土を除いてもらってから掘り始めたり、大人も子どもも真剣そのもの。汗を流し、苦勞の末、大きなタケノコを掘りあげた子どもたちは満足そうにガッツポーズ。

楽しいひと時でした。



せたがや 散歩道

てくたくぶっく* ~ 兵庫島コース



島の名称の由来は、上流での戦の際に斃れた武将の遺体が漂着し、その武将の名前「由良兵庫助」から付けられたといわれています。

① 兵庫島

兵庫島から見た開発の進む二子玉川



② 牧水碑



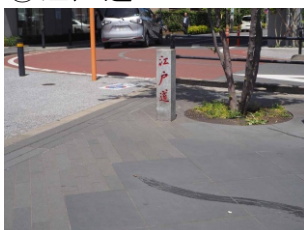
歌人若山牧水の歌碑
多摩川の
砂にたんぼぼ
咲くころは
われにもおもふ人の
あれかし

④ 二子の渡し跡



所在地 玉川 1 - 7
江戸中期以降、大山道の重要な渡船場。
現在は区立玉川福祉作業所の入口。

⑤ 江戸道



二子の渡しから、江戸へつながる、慈眼寺前を通る大山道とは別ルート。二子玉川駅前のバス停付近。

⑥ 南大山道道標

所在地 玉川 2-14
道標は庚申塔と同じ頃1777年に建立されている。破損していたものを修復した。



勾配が急なため上り坂は、身体が温まるので「あんか坂」と呼称したのが名前の由来。

⑦ 行火坂



⑧ 法徳寺筆塚



所在地 瀬田1-7
法徳寺は浄土宗の寺院。筆塚は幕末にここで寺子屋を開き子弟教育に専念した先生に対し門弟が建立。

⑨ 瀬田貝塚跡



所在地 瀬田1-13
縄文時代前期の土器が昭和13年に発見され、発掘されている。

⑩ 猫塚



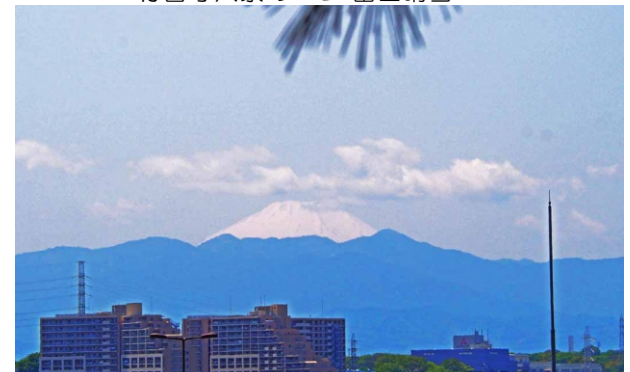
所在地 瀬田1-12
行善寺境内、同寺は浄土宗の寺院。猫塚は猫の霊を祀ったといわれる。

⑪ 行善寺八景の案内



八景を楽しめる場所への案内。八景は
瀬田黄福 富士晴雪
岡本紅葉 川辺夕烟
大蔵夜霧 吉沢暁月
登戸宿雁 二子漁舟

行善寺八景の一つ 富士晴雪



⑫ 長崎館跡



所在地 瀬田2-10
瀬田城跡。築城は永禄(1558-1570)の初期。

⑬ 大空閣寺



所在地 瀬田4-21 真言宗の寺院、大正10年に当地に移転。

⑭ 将監山遺跡



所在地 瀬田4-16
石碑はカソリック瀬田教会の構内正門の左側にある。

⑮ 笠付庚申塔



昭和49年に縄文土器が発掘されている。

所在地 瀬田4-11
典型的な江戸中期の庚申塔。

⑯ 慈眼寺



所在地 瀬田4-10
真言宗の寺院、大日如来を本尊とする。

⑰ 瀬田玉川神社



所在地 瀬田4-11
大山道の急坂の崖上、長い階段で社殿へ上がる。御嶽神社から明治41年に改称。

⑱ 玉川寺



所在地 瀬田4-12
日蓮宗の寺院、昭和7年、日暮里から当地に移り、身延山関東別院玉川寺と改称。

⑲ 両親閣東京別院



所在地 瀬田4-13
安房小湊両親閣妙蓮寺の東京別院として大正12年(1923)に創立。(日蓮上人御両親の墓所)

⑳ 玉川大師



所在地 瀬田4-13
真言宗の寺院。大正14年の開基。地下霊場は通路100mに達し5mの大師像がある。

㉑ 瘡守稻荷



所在地 瀬田4-32、寛政6年(1794)瀬田村の守護神として祀る。デキモノの治癒の信仰を得ている。

⑭青面金剛神



所在地 瀬田5-21
立派な庚申塔(安永5年(1776)建立)が堂内に安置されている。石碑は左の草の中、写真下参照。



⑮お地藏様



所在地 瀬田5-22
明和3年(1766)建立。左府中道、右高井戸道と道標の役目も果たしています。

兵庫島コースルート

①～⑮の番号は本文の項目に対応



*てくたくぶっく について

「玉川石標保存会(問合せ先: 世田谷区玉川総合支所地域振興課)」が発行している小冊子のことです。

世田谷ふるさとめぐりのために、主として区内玉川地区の名所旧跡近辺に石碑を設置しています。散歩がてら石碑の拓本を採取し、併せて地区の歴史を知ることが出来ます。てくてく歩いて、拓本をとることから“てくたく”と名付けられています。

一冊がA6判約60ページで構成され、全体が5冊でまとめられています。1冊ごとにコースが割り当てられ、各コースに関する名所旧跡の由来等の解説が分かりやすく記載されています。コースは、兵庫島、九品仏、等々力溪谷、駒沢公園、用賀・馬事公苑です。

本紙の今号では「せたがや散歩道」シリーズとして兵庫島コースを採り上げ、①から⑮までの(一部割愛)石碑を含む風景を拓本ではなく写真として紹介しています。順次コースを拡げていく予定です。記事等もこの冊子を参考にさせて頂きました。なお、昨年度各石碑の清掃が行われ、彫刻された文字等も明瞭になり、気持ちよく鑑賞することが出来ました。あらためて感謝いたします。

フラワーランド春の花まつり

2017

ゴールデンウィークの最後の休日となった5月6・7日「フラワーランド春の花まつり 2017」が開催されました。

来園者から、「バラ、ジャーマンアイリスなどこれだけ沢山の花が咲いている公園は他には無いよね。ここはすごいですね。」とお褒めの言葉を頂きましたが、沢山の花が咲いていて、一年で一番良い季節でした。



フラワーランド正面入り口

まず、両日を通じて行われたのは、「スタンプラリー」「ハーブティコーナー」「サギ草の相談」「ミニ苔玉づくりの実演」「菊づくりの相談」「みどり33募金苗頒布」でした。

体験コーナー（午前と午後の2回実施）は6日が「夏を涼しく彩る朝顔のポットあげ」「自分で作る培養土と草花苗のさし芽」。7日が「春のミニブーケづくり」「たねダンゴづくり」。また、6日は「バラの楽しみ方」、7日は「ガーデンツアー」が行われました。

来園者の方々が楽しみにしているのは「みどり33募金苗頒布」で、菊の苗等が喜ばれるのは当然ですが、ミニ苔玉や、チシマタンポポとかムシトリスミレなどの植物も品切れ。

また、6日は気温が28.2℃で今年最高の暑さだったとかで、ハーブティコーナーが大人気。

体験コーナーの「朝顔のポットあげ」は、朝顔の苗を掘り起し、ポットに植え替えて持って帰れるため人気があり、参加者も幼児から高齢者までさまざま。朝顔を苗床から掘り起こす作業も、幼児と高齢者では違いました。幼児は、「友の会会員」の指導通り思い切りよく2本の箸を苗床に突き刺し、朝顔を掘り起こすのですが、高齢者は苗を比較するのか、2回位声を掛けられてから箸を突き刺す場合が多かったようです。

「自分で作る培養土と草花のさし芽」は、まず、参加者が大きなコップに赤玉土、バーミキュライト、クンタンを4：4：2の割合で入れ、それを鉢皿に移してよく混ぜて培養土を作り、ポットに移し、ローズマリ、カラコエなどのうちから2種類を選び、挿し芽をしますが、計量カップがないので、子どもたちも土の割合を決めるのに真剣そのものでした。



挿し芽の体験コーナー

「バラの楽しみ方」ではバラ園担当の「友の会会員」が、フラワーランド内にあるバラ園の40種余りのバラについて、名前、花の形、色、香り等のほか、他人に差し上げられるバラか否か

などを詳しく、楽しく説明をしてくださいました。ただし、今年は開花が遅れているとかで、花の数が少なかったです。

2日目(7日)の体験コーナーの「春のミニブーケづくり」は一番の目玉で、体験コーナーの各定員が各回15名なのに、「ブーケづくり」だけは20名に増員したのですが、それでも受付の時刻には定員をオーバーする人が列を作りました。



ブーケづくりの受付を待つ行列

公園内から採取したバラ、ナデシコ、ヤグルマソウなど10数種類の花の中から、バラは1本、その他の花は10本を、更に、シロタエギク、ギボシなどの葉物から数本を選び、「友の会会員」に花束にしてもらうのですが、新鮮な美しい花束を貰えるので、幼児から高齢まで希望者が殺到していました。



ブーケづくりの花選び

花は、赤とか黄色等の鮮やかな色のものに人気集中しました。やっと、選んだ花を「友の会会員」に渡しラッピングしてもらおうと早速、家族で記念写真の撮影。皆さん満足そうでした。



種団子作りに熱中する子どもたち

次の「たねダンゴづくり」は、鉢皿と野球のボール位の大きさに丸めた用土(ケト土と赤玉土を5:5で混ぜたもの)を渡され、用土を10個に分け、中に肥料(マグアンプとミリオン)を入れて丸め、草花の種(コスモスなど8種類)とハイフレッシュをまぶし、落ち着きをよくするために若干押しつぶし、8個を公園の花壇に埋め、2個は持ち帰るといものですが、ここも希望者が多く、予定より若干多くの人を参加させたため、作業台からあぶれた子どもたちが花壇の縁に並び、素手で泥遊びを楽しんでいました。

また、「ガーデンツアー」は、昨年拡張された部分を含め、園内の植物等を丁寧に説明してくれました。

今回の花まつりで意外だったのは、子どもたちから「苔玉を作りたい」「サギ草の相談」てどんなことをするのか、という申し出や質問を何回か受けたことでした。好奇心の強い子どもが多いようで心強く感じました。

かわらばん

・ 読者からのメッセージ

トラスト通信ボランティア御中
 先日、成城学園界隈の桜散策をして、
 ビジターセンターで「トラストネット
 ワークNo.75」をいただき家で読みま
 した。70歳の私が十代の頃に住んで
 いた杉並区の松ノ木で妙法寺に行く時、
 水道道路を横切っていたのですが、水
 がどこにも見えないので不思議でした。
 謎が解けてスッキリしました。お礼ま
 で。(MF)

(編者注) 有難うございました。水道
 道路の地下の管に水が流れていること
 があきらかになり、よかったですね。

・ 新宿御苑内でネイチャーアート展 右欄の案内詳細を御覧ください。



せたがやトラスト彩草会 主宰・松原巖樹

第6回 ネイチャーアート展 2017年
つる植物を描く

新宿御苑インフォメーションセンター1F 『アートギャラリー』
 7月11日(火)～17日(月・祝) ☎03-3350-0151 (場所の照会のみ)
 9:00-16:30 (最終日・15:00まで)

後援・(一財) 世田谷トラストまちづくり

- JR 新宿駅南口より徒歩10分
- 都営地下鉄新宿線・新宿三丁目徒歩5分
- 営団地下鉄丸ノ内線新宿御苑前徒歩5分

当番日	11	12	13	14	15	16	17
午前							
午後							

私は○印の日に会場に居ります

インフォメーションセンター
 アートギャラリー
 新宿三丁目駅
 世界堂ビル
 明治通り
 新宿駅南口
 甲州街道
 新宿御苑
 新宿門

彩草会連絡先・03-3707-5317 田中 昭重

いきものさんぽ ヤマホタルブクロ キキョウ科



ホタルブクロ
 の変種で、山に
 多く生息して
 います。

彩草会

編集後記 6月になり梅雨の季節が
 やってきました。最近では記録的な豪
 雨で災害が発生したり、雨が少なく
 ダムが空になったり、極端な天候が
 多くみられます。自然が大きく変化
 しているのかもしれませんが。私たち
 も、自然に対する考え方や接し方
 について、見直す必要があるのもし
 れませんね。

76号作成に関わったメンバー

大泉定雄 片寄正史 北島明子 須永澄子
 高梨麻実 田澤與光 野武一郎 宮下正雄